



クロス

お部屋の壁、天井のクロスが木材の収縮や湿度の影響により隙間が生じる場合があります。クロス内装用コーキング材にて隙間を補修する事ができます。状況に応じて補修を行います。

床鳴り

木材の収縮等により床周辺にきしみ音が発生することがあります。気候による(湿気、乾燥)原因が多いため、四季を通して様子を見て頂き、それでも改善しない場合はお伺いいたします。

畳の色あせ

和室の畳に関しては、天然のい草を表面に使用している場合は、時間の経過とともに変色をすることがありますので御了承下さい。

基礎の小ヒビ^{ヘアークラック}

基礎の表面に薄い化粧モルタルを塗っており、この化粧モルタルにヒビが出るケースが見受けられます。モルタルの乾燥収縮により、小ヒビは発生しますが、基礎本体強度に影響するものではありませんので御安心下さい。

基礎のシミ

状況により基礎の下部に水分の吸い上げによるシミや、モルタルの成分による化学反応で白い粉のようなものができることがあります。このような症状は強度に影響するものではありませんので御安心下さい。

駐車場の小ヒビ

駐車場の土間コンクリートにモルタルの乾燥収縮により小ヒビが発生しますが、土間コンクリート本体強度に影響するものではありませんので御安心下さい。

集水マス

大雨の時は樋からの水を集水マスに吸収しきれないことがあります。原則、宅地内にて浸透させる事となっておりますので御了承下さい。

植栽・石

庭から石などが採掘されますが、自然石に関しては撤去いたしかねますので、ご理解の程よろしくお願いします。また、植栽に関しては保証を設けておりませんので、合わせてご了承下さい。

結露

居室サッシはペアガラスになっており、結露しにくくなっておりますが外気との温度差により完全に発生をなくすことは出来ません。結露防止対策としても、24時間換気は稼働させていただきようお願いたします。

24時間換気扇

建築基準法により常時稼働させることが義務付けられておりますので必ず各階トイレの換気扇の運転と、各居室の吸気口の開口をお願いいたします。(結露の原因、またサッシの隙間、スイッチ周りから冷気が流入する場合があります。)

害虫・コウモリ等

春から夏にかけて、害虫が家の中へ侵入してきます。住宅の気密性は高くなっていますが、少しの隙間からでも虫は入り込むことができます。害虫、コウモリ等に関しては専門業者へご依頼されるようお願いいたします。

汚水マス(清掃)

一部の地域の本下水を使用される場合は、キッチンから油が流れ出ないために排水トラップが設置されています。油が固まると、排水の詰りの原因となりますので、半年に1度ほど汚水マス内の清掃をお願いいたします。

浄化槽の維持管理

浄化槽が設置されている場合には、設置状況を見る検査と使用・管理状況を見る検査の2つの検査が法律で義務付けられております。必ず、浄化槽の保守点検業者と受検手続きをされるようお願いいたします。(当社においても、業者のご紹介は行っております)

定期点検

お引渡し後2年間は日本住宅保証検査機構(JIO)による定期点検が半年、1年、2年の計3回実施されます。また5年、10年、15年、20年、25年点検においては弊社指定の業者にて実施いたします。点検日が近くなりますと往復ハガキが送付されますので点検希望日を記入しハガキの投函をお願いします。

※点検終了後に状況に応じてカスタマーサービス課の担当がお客様宅へ連絡、訪問し補修等を行います。



お客様 引き渡し説明書

KEIAI
デザインのケイアイ

各部の調整方法(ご参考どうぞ)

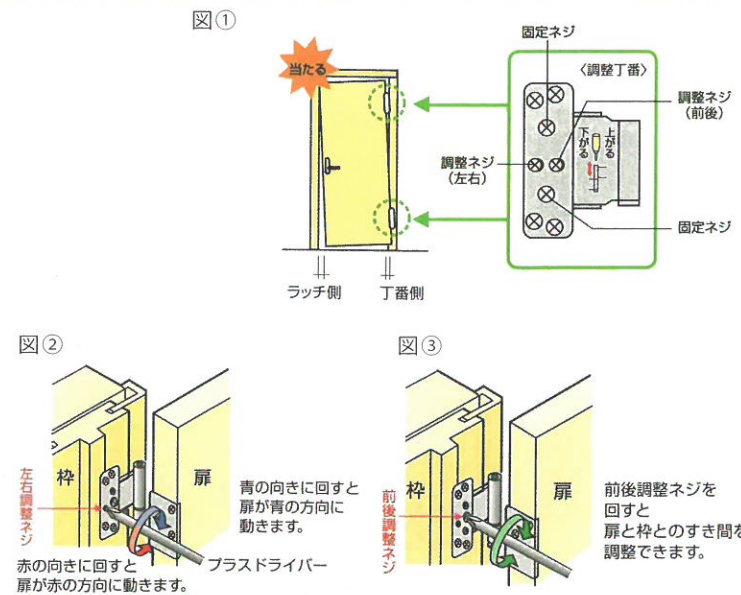


建具(ドア)

開閉を繰り返すことにより、ドアと枠に隙間ができたり、擦れたりする事があります。
 丁番の調整により改善することができます。

■メンテナンス方法

- ・ 丁番の調整固定ネジを緩めます(図①)
- ・ 枠に擦れる場合は左右調整ネジ(図②)、ドアが斜めの場合は前後調整ネジ(図③)にて位置調整を行います。
- ・ 調整後に固定ネジを締めます

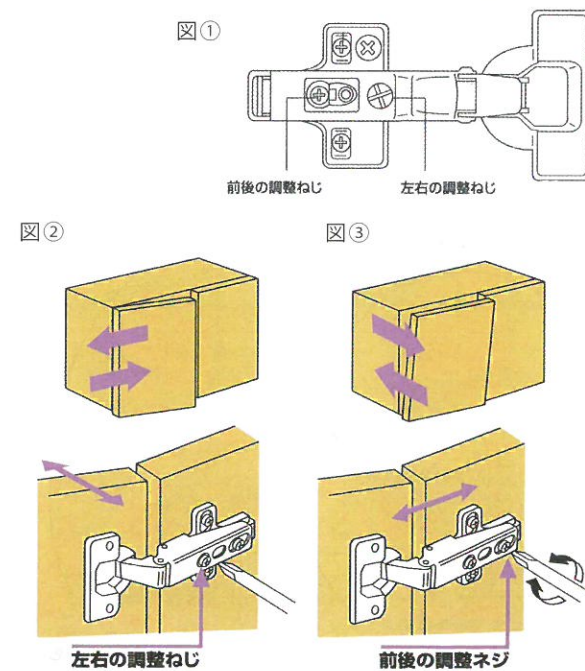


建具(下駄箱・キッチン扉)

開閉を繰り返すことにより、扉に隙間ができたり、擦れたりする事があります。
 スライド丁番の調整により改善することができます。

■メンテナンス方法

- ・ 左右、前後調整ネジにて調整を行います。(図①②③)

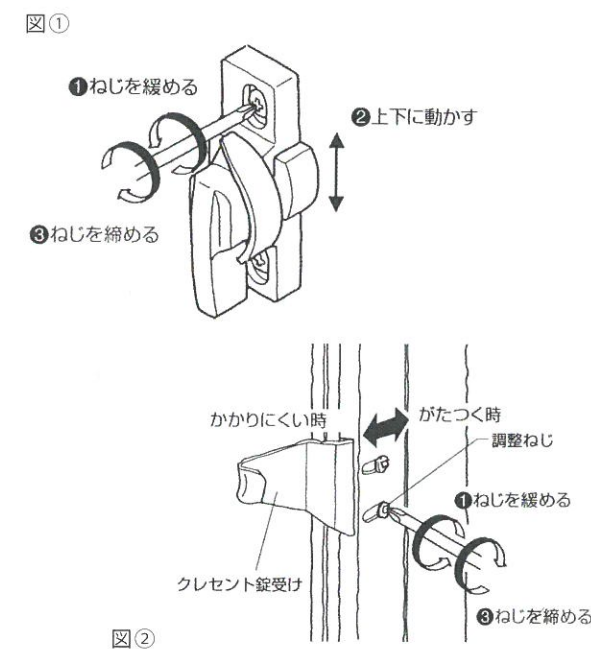


サッシ窓(クレセント鍵)

クレセント錠を閉めた時に、ガタつきまたはキツすぎる事があります。錠本体または、受け具の位置調整により改善することができます。

■メンテナンス方法

- ・ 固定しているネジを緩め、上下、左右の調整を行います。(図①②)

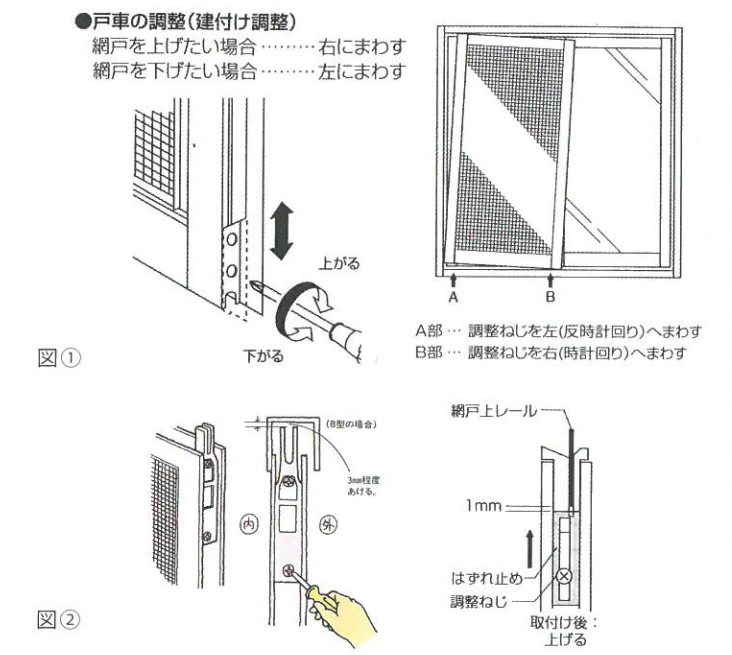


網戸

網戸を閉めた時に上下で隙間ができしてしまう事がありますが、戸車の高さを調整することにより改善することができます。網戸がレールから外れたり、外れやすくなる事があります。外れ止め調整を行うことにより改善されます。

■メンテナンス方法

- ・ 外れ止め部品のネジを緩め、位置調整後にネジ固定を行います。(図①②)

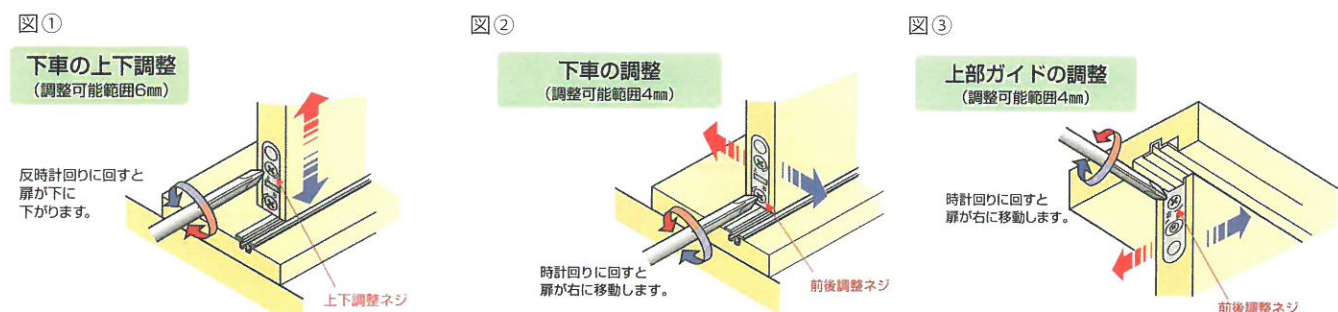


建具(引戸)

開閉を繰り返すことにより、引戸と枠に隙間ができたり、擦れたりする事があります。戸車の調整により改善することができます。

■メンテナンス方法

- ・ 上下で隙間が違う場合は戸車の上下調整ネジにて調整を行います。(図①) 右に回すと上がり、左に回すと下がります。
- ・ 引戸が枠に擦れる場合は左右調整ネジにて調整を行います。(図②③) 右に回すと右へ、左に回すと左へ移動します。



玄関ドア

開閉を繰り返すにより、閉まるスピードが早くなってしまったり、ドアクローザーのスピード調整ネジにより改善することができます。

■メンテナンス方法

- ・ 調整ネジは2ヶ所あり速度区間に合わせた調整を行います。
- ・ 回しすぎると故障の原因となりますので左右 46 度以内で調整をお願いします。

